

学習内容報告書

都城市立笛水小中学校

学校名	都城市立笛水小中学校
授業者	全職員

1. 単元計画

1-1. 単元名

森とダム、海との関係を知ろう

1-2. 学年

1年～9年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科、総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

1. 海に親しむ活動

（1）海の生き物を探そう

2. 海と川

（1）水産試験場を見学しよう

（2）宮崎港の役割を学ぼう

（3）地域の川の環境を調べよう

3. 森や川・ダムと海とのつながりを知る

（1）出の山水源地を調べよう

4. 海を守る

（1）教室から深海探査につなごう

1-5. 単元設定の理由・ねらい

学び舎がある笛水地区は、周囲を山々に囲まれている。そのため、海と関わる生活体験が少ない児童生徒が多い。海について学び、親しむ活動を通して、宮崎の川や海に生息する生き物について知り、海洋教育の調べ学習に役立てること、地域の施設について知るとともに、自然に親しみ、自然保護への関心を高めることをねらいとしている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 自然環境の保全について考えて行動する態度
- ・ 課題を見だし、解決していく力
- ・ 情報を収集・分析し、発信していく力

1-7. 単元の展開 (全 35 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
9	<p>○海の生き物を探そう・宮崎港の役割を学ぼう</p> <p>(1) オリエンテーション。 (2) 宮崎港への質問を考える。 (3) 青島・宮崎港に見学へ行く。 (4) まとめを行う。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の活動を振り返り、課題を設定する。 ・資料やネットを参考に、海や宮崎港について調べ、見学に行く目的を考えさせる。 <p><主な評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の豊かさと環境問題について、実際の体験活動や職員の人の話から考えることができたか。 <p>[連携] 宮崎港湾・空港整備事務所 宮崎カーフェリー (株)</p>
9	<p>水産試験場を見学しよう</p> <p>(1) オリエンテーション。 (2) 水産試験場への質問を考える。 (3) 水産試験場に見学へ行く。 (4) まとめを行う。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場について調べ、どんなことをしている場所であるのかを知り、海の豊かさとのつながりについて考えさせる。 <p>[連携] 宮崎県水産試験場</p>
6	<p>地域の川の環境を調べよう</p> <p>(1) 事前学習をする。 (2) 高崎川の水質調査を行う。 (3) 水質調査のまとめをする。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パックテストのやり方など、水辺の環境調査の方法を指導する。 <p><主な評価></p> <p>海と森との関わりについて考えることができたか。</p> <p>[連携] 都城市環境政策課</p>
3	<p>出の山水源地を調べよう</p> <p>(1) 出の山水族館・水産試験場(小林分場)の見学を行う。 (2) 出の山調査のまとめをする。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学をとおして、人々の生活と豊かな自然の双方が持続可能な社会にしていけるために必要なことについて気づかせる。 <p>[連携] 宮崎県水産試験場(小林分場)</p>
3	<p>教室から深海探査につながろう</p> <p>(1) GIGA スクール特別講座を視聴する。 (2) 深海調査のまとめをする。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深海無人探査機による実験や探査の解説を聞きながら、深海の世界との関わりについて考えさせる。 ・私たちを取り巻く海(深海)やそこで起こっている事象について新たな「気づき」を喚起させ、環境や生物教育の動機付けをさせる。 <p>[連携] 海洋研究開発機構</p>
5	<p>年間のまとめ</p> <p>(1) 活動を振り返り、年間のまとめを行う。 (2) 発表を行う。</p>	<p><教師の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・google スライドを使ってまとめさせる。 ・低学年にもわかるように発表の仕方を工夫させる。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ




単元 9 時間中の 3~6 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- (1) 宮崎の海の様子や海に生息する生き物について知り、海洋教育の調べ学習に役立てる。
- (2) 宮崎の港湾施設について知るとともに、自然に親しみ、自然保護への関心を高める。
- (3) 集団行動を通して、公衆マナーを身に付ける。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)		
<p>1 本時の活動について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設見学の流れの確認 ○ 準備物の確認、その他注意点など 	<p><準備物></p> <p>弁当、水筒、敷物、タオル、ハンカチ、ティッシュ、着替え、ビニール袋、筆記用具、調査に必要なもの</p>		
<p>2 青島海水浴場へ移動する。</p> <p>3 青島で調査活動を行う。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-right: 1px dashed black;"> <p style="text-align: center;">小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯遊び ・海の生き物探し </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック調査 (砂集め) ・パックテスト ・生物調査 ・海の景観調査 </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯遊び ・海の生き物探し 	<p style="text-align: center;">中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック調査 (砂集め) ・パックテスト ・生物調査 ・海の景観調査 	<p><教師の指導・支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、観察の視点を助言する。 <p style="text-align: center;"><小学部：磯遊び> <中学部：パックテスト></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p style="text-align: center;">小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯遊び ・海の生き物探し 	<p style="text-align: center;">中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック調査 (砂集め) ・パックテスト ・生物調査 ・海の景観調査 		
<p>4 宮崎港へ移動する。</p> <p>5 宮崎港湾・空港整備事務所の職員による宮崎港についての説明を聞く。</p> <p>6 カーフェリーの見学を行う。(宮崎カーフェリーの職員から説明を受ける。)</p> <p>7 お礼のことば</p>	<p><教師の指導・支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童生徒の宮崎港への質問事項を集約して、連絡しておく。 <p style="text-align: center;"><職員による説明> <フェリー見学></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>8 学校へ移動する。</p>	<p><主な評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の豊かさと環境問題について、実際の体験活動や職員の人の話から考えることができたか。 		

3. 今回の活動の自己評価

- ・ 天候にも恵まれて、青島では中学生は調べ学習、小学生は磯遊び（生き物探し）をすることができた。児童生徒はとても楽しそうに活動していた。
- ・ 宮崎港では普段入ることのないフェリーの中を見せていただき、児童生徒がとても喜んでいました。また、宮崎港湾・空港整備事務所の方から港の仕組みなどをわかりやすく説明していただき、港の役割について考えることができた。

4. 今後の課題

- ・ 昨年度から川、森、海についてこれまで学習してきたので、これらを結びつけるような学習内容を計画したい。
- ・ 小学部は1年から6年まで共通した内容で取り組んだが、学年に応じて活動を深めていく必要がある。
- ・ 中学部では青島でのマイクロプラスチック調査、水質調査、生物調査ができたので、他の海で調査活動を行い、まとめていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。